



## 認知症講演会を開催して

上野公園病院院長

長野浩志

上野公園病院は平成26年9月に、大分県から県西部地区の認知症疾患医療センターに指定を受けました。認知症疾患医療センターは、地域における認知症専門医療の提供と介護サービス事業者との連携を担うことを目的としています。

具体的な役割の1つに、地域の医療機関や介護施設などとの連携強化のために、認知症に関する講演会を開催することが求められています。

私は、今まで認知症に関する講演会にはたくさん参加いたしました。自らが講演会を主催や共催したことがなかったので、開催するに当たっては準備に戸惑うことも多々ありましたが、医療センター職員の協力もあり、ここ1年間に4回開催することができました。その内容を簡単に紹介いたします。

講演名；認知症の鑑別疾患～アルツハイマー型、脳血管性、レビー小体型、  
前頭側頭型を中心に～



演者；上野公園病院 診療部長 大神博央 先生

日時；平成26年11月7日（マリエールオークパインにて）

内容；临床上、出会うことの多い代表的な認知症について、診断と治療とを中心に講演していただいた。up-to-dateな情報満載で、また一般医にも分かりやすい内容であった。大分オレンジドクターや医療従事者など148名の参加があった。

講演名；認知症地域連携～地域包括ケアシステム構築を含めて～

演者；熊本平成病院 院長 坂本眞一 先生

日時；平成27年3月18日（マリエールオークパインにて）

内容；まず、認知症を取り巻く現状について話していただいた。次に「熊本モデル」として注目されている熊本県独自の認知症対策を、最後に熊本県八代市における認知症疾患医療センターとしての取り組みの実際を講演していただいた。認知症の臨床は、やはり精神科医が中心になるべきだと再認識した。また、地域包括支援センターなどの福祉関係との連携を強化するためには、医療側から連携を求めることや認知症事例検討会の開催などが必要であることを学んだ。医療や行政福祉関係など91名の参加があった。



講演名；正しい知識と理にかなった感染対策を～インフルエンザとノロを中心に～

演者；佐伯保養院 副院長 山内勇人 先生

日時；平成27年5月15日（マリエールオークパインにて）

内容；病院や施設における集団感染防止対策として講演していただいた。マスク使用に対する知識や、抗インフル薬の早期投与や予防内服など改めて考えさせられた。病院関係者のみならず、老人ホームなどの福祉施設の方が大勢参加した。場が満員となり、急きょ、予備室を解放して対応した。病院や施設関係者の集団感染に対する正しい知識や対策への関心の高さを改めて認識した。参加者は201名であった。

## 講演名；認知アップデイケアの現状と課題

演者；メモリークリニックお茶の水 院長 朝田 隆 先生

日時；平成27年7月29日（マリエールオークパインにて）

内容；軽度認知症を認知症に進めないためのトレーニングとして真に有効なものは何か、その開発と評価方法、そして今後の課題についていただいた。服薬と認知トレーニング（シナプソロジー有酸素運動）とで、軽度認知障害の状態を1～1.5年は維持できる可能性があることを示された。今後は認知症対策だけでなく、軽度認知障害対策も行政や地域包括支援センターなどと協力して推進する必要があると思った。日田玖珠や中津市の一般医を中心に90名の参加があった。

以上の講演主題については、地域の医療福祉関係者が求めているであろう情報や課題に焦点を当てて決定しましたが、おおむね良い反響でした。また、講演会を聴講することは、私を含め自院職員の良い研修の場になりました。来年も有意義な講演会を開催したいと思っています。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう  
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス

<http://www.uenokoen-hospital.jp/>

E-mail

[uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp](mailto:uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp)

## 只今、勉強中で

東1病棟 看護師 小野 耕兵

時が経つのは早いもので、当院へ入職し1年半が経過しました。さて、当院では、年に2回病棟異動があります。私事ですが、今年の9月に病棟異動し東2病棟から東1病棟へ異動となりました。病棟の構造としては同じですが、その特性は全く異なり、以前の東2病棟では、認知症の中等度から重度の患者様を主とし看護を行なっていましたが、東1病棟では、医療度の高い患者様の看護を主として行なっています。その中で看護師としての役割は重要であり、特に観察力を必要とします。一人一人に目を凝らし、手を差しのべ、患者様の異常の発見にいち早く気付くことが出来るよう日々精進しています。異動当初は不安もありましたが、師長をはじめとし、厳しさの中にも優しさを兼ね備えたスタッフの皆様の指導のもと、東1病棟のスタッフとして患者様の為に今後も頑張っていきます。

## 作業療法だより



今回は11月に行った、芋ほりの様子をお知らせします。今年の夏は天候も悪く、患者さんと一緒に畑の手入れを行う機会が少なかったように思います。畑の様子はところどころ芋づるが無く

なっており、例年に比べ雑草が多い状態でした。当日は多くの患者さんが参加され、一所懸命に芋を掘られていました。（実際は芋の出来が悪く、少なく小さい芋を探している宝探しでした。）中には慣れた手つきで鍬を振られている方も居られました。収穫はわずかでしたが、皆さん満足気な表情を浮かべられていました。去年は野ウサギに食べられてと不作続きですが、「来年こそは豊作を！」と願っています。さつま芋は、買い足して焼き芋にして患者さんと一緒においしくいただきました。

